

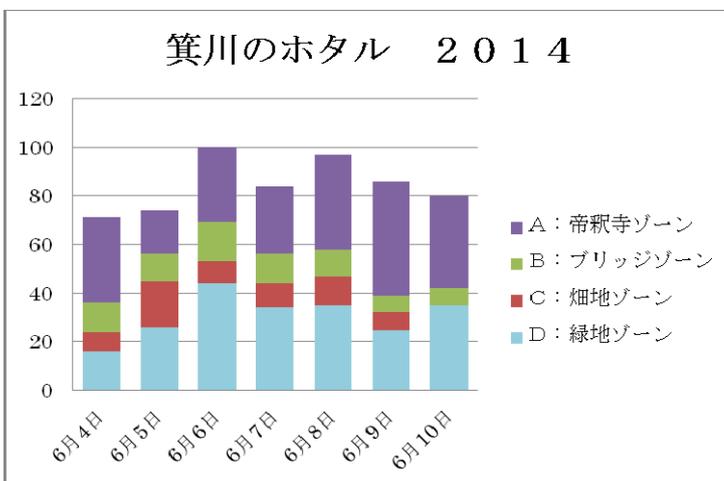
2013年まで、順調に増加。

2014年・2015年は、前年の大雨洪水のため、幼虫が流され河川環境も変化したため、減少した。

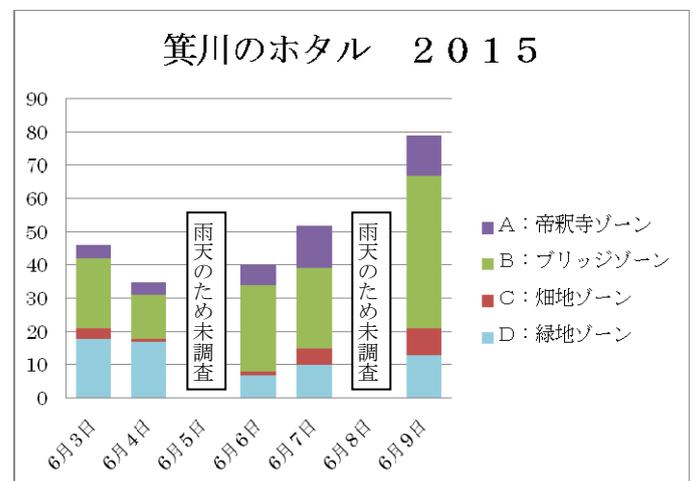
2016年は回復傾向である。

この3年間の推移は、他の川と同じ傾向である。

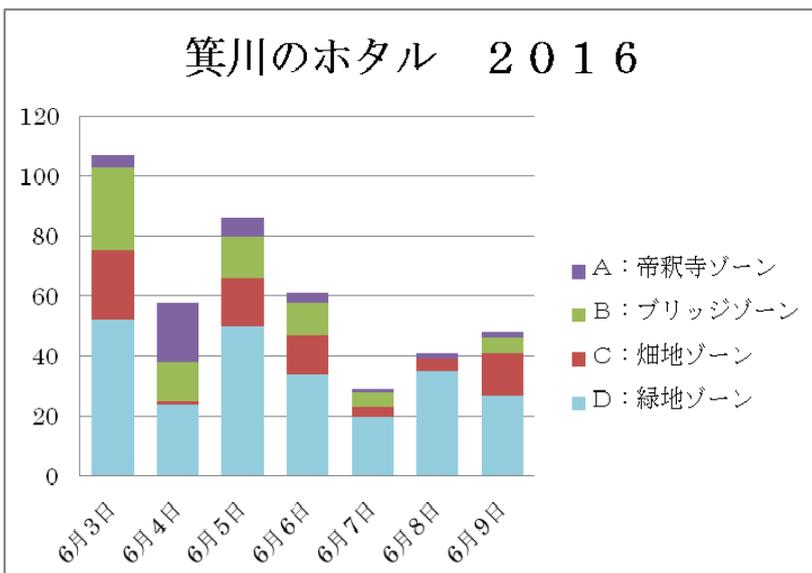
(注記) 上流より A:帝釈寺ゾーン B:ブリッジゾーン C:畑地ゾーン D:緑地ゾーン。場所別の推移を調査。



帝釈寺ゾーンと緑地ゾーンが多い。



ブリッジゾーンが多い。前年の大雨で、幼虫が流されたか？



2016年度は、ゾーン毎の発光個体数の「ばらつき」は見られなかった。ただし、帝釈寺ゾーンでは、大幅に発光個体数が減少した。※2014年度と比較河川改修工事による環境変化が原因と推定される。

*ハイケボタルについて 大阪府レッドリスト純絶滅危惧種 (NT) 箕面市では帝釈寺ゾーンのみに生息

6月後半～7月にかけて、帝釈寺ゾーンに発生していたハイケボタル (平均発光個体数 約20匹) は2015年にかなり減少し、2016年には激減して5匹を確認するだけとなった。